

# 眼とメガネの健康情報

## メガネの歴史

遙か昔から、人は歳を重ねれば老眼になり、また、近視、遠視、乱視の人々もメガネが無い頃は、今では考えられないほど不自由な暮らしをしていました。

十三世紀の書物の中には、「メガネは神様の贈り物のようでありがたいものだ」と記述されており、その当時の様子を物語っています。

## 今月のコラム

旅好きな人、又はよく旅に行かれる人がうらやましく思うことがあります。でも、ひとりどこかに行くという事があまり好きではなく、特に休みの日ですえ外出したくない、まあ、早い話が出不精なんです。(笑)

## 素材の進化

十三世紀頃は、ガラスを作る技術が大変進んだ時代とされています。レンズの材料には、ガラスのほかに、水晶や緑柱石も使われましたが、まもなくレンズの材料は、宝石より楽に手に入るガラスがほとんどになりました。

## レンズの由来

レンズという言葉の語源は、ヨーロッパの

だけ、やっぱり、春はこんな自分でも旅がしたいなと思うのです。そこで、書店にて旅の本を買ったりして目で、そして頭の中で自分なりの「旅」を楽しむこともしばしば。

一度、目を通してあげば、いつか行ける時が来たら、ああ、あそこへ行くつなぐイメージ

家庭で普通に食べられている、レンズ豆という豆の形に似ている事から、その名が名付けられました。

また歴史そのものも大変古く、今からおよそ二三〇〇年もの昔、インド、バビロニア、エジプト、ローマ、中国には、すでに水晶やガラスで作った凸レンズがあったようです。

しかし、この当時のレンズの利用方法までは、良く分かっていません。思い起こすことができ、きつと楽しさ、嬉しさが増すかもしれません。

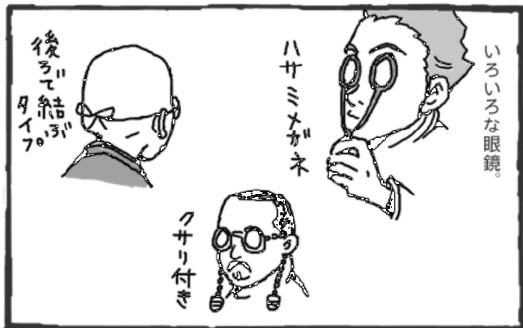
梅の花見は今年も逃したので、次は桜です！桜を追ってまずは近隣から、あとは北方面へ少し足を伸ばしてみようかと考えています。実現できますように！

( 鴨居店 K )

せん。一説によると太陽の光を集めて火をおこす為の道具として、「凸レンズ」が使われていたようです。

## メガネの始まり

適度にカットしたレンズを使うと、視力が助けられることを始めに発見したのは千年もの昔、アラビアの数学者アルハーゼンでしたが、実際に視力を補う目的として使われたのは、その後三百年も後のことのようにです。



もつとも、最初は拡大鏡のような物で、本の上に直接乗せて使っていたようです。それ

## 世界から日本へ

日本に伝来したのは一五四九年に来日したイエズス会の宣教師フランシスコ・ザビエルによって、周防(現在の山口県)の大名・大内義隆に献上したものが、その最初とされています。

また、室町幕府十二代将軍足利義晴が所持していたという眼鏡が残っており、一部には、これが現存する日本最古の眼鏡ではないかという説もあります。

ちなみに、現在のメガネに付いている「鼻当て」は西洋人に比べて鼻が低い日本人が、まつ毛にレンズが触れないようにする為に初めて考え出した物と言われています。

ららぽーと横浜店

西立体駐車場 3F

メガネのなかむら

〒224-0053 横浜市都筑区池辺町4035-1(3F)  
☎(045)414-2424(国) AM10:00~PM9:00  
<年中無休>

鴨居駅前店

メガネのなかむら

〒226-0203 横浜市緑区鴨居1-7-1  
☎(045)933-0003(内) AM10:00~PM8:00  
<年中無休>

中山駅前店

メガネのなかむら

〒226-0014 横浜市緑区台村町290  
☎(045)931-2499(内) AM10:00~PM8:00  
<年中無休> 中山商店街第1・第2駐車場(1時無料)

メガネ作りは、知的で高度な技術の作業です。

あなたの目を守る — メガネ専門店

なりむら

Optical Shop Nakamura

ホームページも是非、ご覧下さい。 http://www.nakamuramegane.co.jp